

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆預金不足の地銀、グループ内で融通しやすく 金融庁が規制緩和へ

・金融庁は同じグループ傘下の銀行どうしで資金融通しやすくする。与信を一定割合以下に抑える規制について、グループ内の銀行であれば例外的に超過を認められるよう規制緩和する。預金を多く抱える地方銀行から不足する地銀にお金を回し、地域への資金供給を活性化させる狙いがある。

◆要介護認定の申請しやすく、代行可能な施設拡大 厚労省が27年度に

・厚生労働省は2027年度に要介護認定の申請を代行できる事業所を増やす方針。認知症対応型の共同生活介護を提供する施設など新たに4種類の事業所を加える。介護を受ける人は増加しており、利便性の向上につなげる。要介護認定は原則、介護保険サービスを受ける本人か家族が市区町村の窓口で申請する。

◆25年国内映画興収、過去最高の2744億円 「鬼滅」「国宝」けん引

・国内配給大手4社などでつくる日本映画製作連盟は2025年の国内映画興行収入が前年比33%増の2744億円だったと発表。19年に記録した2611億円を超える過去最高。実写邦画「国宝」やアニメ映画「『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猪窓座再来」などの大ヒット作がけん引。両作品を配給した東宝グループの興収は1605億円、全体の58%を占めた。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆マンホールのふた大型に 機器使用で老朽管の点検効率化、国交省

・国土交通省は、マンホールのふたや穴を一回り大きくするよう、地方自治体など下水道管理者に促す方針だ。老朽管の点検で人が入らなくても済むように、カメラ搭載機器を搬入しやすくする。年内に指針を改定し、効率的で安全な作業につなげる。日本下水道協会の指針に関連規定を盛り込む方向で調整する。

◆URと「無印良品」、団地の遊休地を交流広場に プール・土俵跡が変身

・大阪府内の都市再生機構(UR)の団地で、敷地内の遊休空間をにぎわいづくりに生かす取り組みが進む。URと「無印良品」を展開する良品計画が、プールや土俵の跡を開放感のある広場に転換した。築年数が経過した団地の魅力を高めるため、住戸にとどまらず団地全体をリノベーションするプロジェクトの一環。

◆物価上昇で住宅ローン返済の負担感増す—支援機構調査

・住宅金融支援機構は2024年度以前に借り入れを行った住宅ローン利用者の実態調査結果(2025年10月調査)を公表した。返済者の37.8%が、返済の実質的な負担感が大きくなったと回答。金利タイプに関わらず、物価上昇に伴う支出の増加が返済の負担感を増大させた最大の理由となった。

« 注目商品 »

■DAIKEN、取付け簡単な音響調整部材3種

・中～高音域の幅広い音域に対応し、フックにかけるだけで簡単に取り付けできる後付けタイプの防音室向け壁面音響調整部材。「サウンドフィーユ」はシンプルな正方形で、中～高音域を吸音し、フラッターエコーの改善に適した製品。



■城東テクノ、床下換気と止水を両立する水切り

・平常時の床下換気と豪雨・台風の際の床下浸水対策を両立する水切り。床下換気に必要な有効換気面積を確保しつつ、有事には「水膨張不織布」が膨れ、基礎内部への浸水を防ぐ。交換パーツを取り替えるだけで換気と止水機能が回復するため、大掛かりな工事が不要。



■タカラスタンダード、ホーロー化粧洗面台をモデルチェンジ ファミーユ

・ホーローの優れた清掃性・耐久性とデザイン性を兼ね備えた中級価格帯の洗面化粧台。天板と洗面ボウルが一体型で手入れが簡単な「フラットカウンタータイプ」と天板上にボウルを置いた造作スタイルの「ベッセルボウルカウンタータイプ」をラインナップ。

